

2009年度 後期	曜日・校時	木・1	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	フランス語 II FrenchII			
対象年次 1年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等) T20A~23B	科目分類		外国語科目 (フランス語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員: 大橋 絵理 /Eメールアドレス:eohashi@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 環境科学部1階(123-2) /TEL: /オフィシアワー:火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: フランス語Iを履修済みの学生を対象にし、文法事項を理解するだけでなく、日常表現を覚えることで、コミュニケーションのきっかけをつくることをねらいとします。さらに学び取った新しい知識を、そのまま実践的な会話に応用できるようにします。 授業方法: 教科書に沿って授業を進めます。ディアローグ及び文法のポイントと、実際フランスで生活していくうえで起こりうる状況との組合せによって、無理なく段階的にフランス語でコミュニケーションがとれるようにします。また適切な言葉の使い方や、状況にふさわしいフランスでの行動の取り方も学びつつ、教室内でクラスメイトとフランス語で交流できる方法をとります。 授業到達目標: フランス語の会話の機能に習熟し、授業で受け身だけでなく、学んだ事をその都度、積極的に反復、実践することにより、フランス語を着実にレベルアップすることを目標にします。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 基本的な動詞を覚え、大学の勉強、自己紹介、日常生活について説明ができるようにします。またテレビや映画や音楽を通してフランスの文化や社会についての知識を増やし、理解を深めることで、生きたフランス語を積極的に身につけます。 第1回 疑問代名詞、疑問副詞 第2回 -ir 動詞、尋ねる 第3回 近い未来、近い過去のことを語る aller, venir、練習問題 第4回 定冠詞の縮約、中性代名詞 y、ディアローグ 第5回 時間、天候を言う、疑問形容詞 第6回 非人称構文、Civilisation フランス人の食事 第7回 数量を表す、部分冠詞、prendre, mettre 第8回 数量の表現、中性代名詞 en 第9回 紹介する、補語人称代名詞 第10回 savoir, connaître, pouvoir、練習問題 第11回 1日を語る、代名動詞 第12回 voir, dire, Civilisation フランス人の日常生活 第13回 頼む、命令法、練習問題 第14回 義務を表す表現、ディアローグ 第15回 全授業の総括(試験含む)				
キーワード	楽しく日常会話ができるようになる			
教科書・教材・参考書	「新東京ーパリ、初飛行」 駿河台出版社 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)			
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業への積極的参加10%を総合的に評価する。 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。			